

北海道農業・農村の現状と課題

令和5年(2023年)9月
北海道農政部

目次

- | | | |
|-----|-------------------------|-----|
| I | 北海道農業・農村の概要 | P1 |
| II | 北海道農業・農村を取り巻く情勢と展開方向 | P9 |
| III | 北海道農業・農村の振興に向けた具体的な取組 | P21 |
| IV | 令和5年度(2023年度)農政部の重点取組事項 | P38 |

I 北海道農業・農村の概要

1 北海道農業の特徴

- 本道では全国の4分の1の耕地面積を活かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした農業を展開
- 1農業経営体当たりの経営耕地面積は33.1haと都府県の14倍、主業農家の割合は75.3%と都府県の3.7倍であり、大規模で専門的な経営を展開

■ 北海道農業の全国シェア

区分	単位	北海道	全国	シェア	年次
耕地面積	千ha	1,141	4,325	26.4%	R4
農業経営体	千経営体数	33	975	3.4%	R4
個人経営体	千経営体数	28	935	3.0%	
主業	千経営体数	21	205	10.4%	
準主業	千経営体数	1	126	0.7%	
副主業	千経営体数	6	604	1.1%	
販売農家	千戸	32	868	3.7%	R4
農業産出額	億円	13,108	88,600	14.8%	R3
耕種	億円	5,456	53,989	10.1%	
畜産	億円	7,652	34,062	22.5%	

■ 販売金額1位の部門別経営体数(農林業センサス)

区分	単位	北海道	全国	年次
水稻	戸	8,488	542,785	R2
畑作(麦、いも、豆、工芸作物)	戸	8,065	55,021	
園芸(露地、施設、果樹、花き)	戸	9,164	331,795	
酪農	戸	5,368	12,836	
肉用牛	戸	1,471	28,027	
その他(養豚、養鶏、養蚕、その他)	戸	985	7,645	
計	戸	33,541	978,109	

■ 北海道農業と都府県農業の比較

区分	単位	北海道(a)	都府県(b)	a/b	年次
1農業経営体当たり経営耕地面積	ha	33.1	2.3	14.4	R4
担い手への農地集積率	%	91.6	59.3	1.5	R4
農業経営体-個人経営体 65歳未満の割合(基幹的農業従事者)	%	59.9	28.1	2.1	R4
主業農家率	%	75.3	20.2	3.7	R4
農業経営体-法人経営体	経営体数	4,400	27,800	0.2	R4
1戸当たり					R4
乳用牛飼養頭数	頭	152.2	67.8	2.2	
乳用種肉用牛飼養頭数	頭	927.3	277.5	3.3	
肉専用種肉用牛飼養頭数	頭	105.5	44.1	2.4	

■ 北海道農業と全国農業の比較

区分	単位	北海道(a)	全国(b)	a/b	年次
1農業経営体(個人+法人)当たり					R3
農業粗収益	千円	45,229	10,769	4.2	
農業所得	千円	5,630	1,254	4.5	

■ 全製造業に占める食料品製造業の出荷額のシェア

区分	全国	北海道
シェア(R3)	9.1%	37.0%

資料:農水省「耕地及び作付面積統計」、「農林業センサス」、「生産農業所得統計」、「畜産統計」、「農業経営統計調査-営農類型別経営統計」等

注1:「農業産出額」の全国の数値は、都道府県合計値。全国を推計単位とした令和3年度の「農業総産出額」は8兆8,384億円。

注2:「販売金額1位の部門別販売農家数」の区分欄の「畑作(麦、いも、豆、工芸作物)」及び「園芸(露地、施設、果樹、花き)」は、本道農業の実情に合わせて整理。

注3:「担い手への農地集積率」における都府県の数値は、令和3年度の全国集計値をもとに、道で試算。

「担い手」には、認定農業者(特定農業法人含む)のほか、基本構想水準到達者、特定農業団体、集落内の営農を一括管理・運営する集落営農を含む。

2 北海道の食料自給率

- 本道のカロリーベースの食料自給率は223%。都府県で100%を超えているのは、東北を中心とした5県のみ
- 本道の生産額ベースの食料自給率は220%。本道よりも高い宮崎県などは、収益性の高い品目の生産が多い
- 本道の農林水産業は、国産供給熱量の約2割を占め、我が国における食料の安定供給に大きく貢献

■ 主な都道府県の食料自給率 (令和3年度(2021年度))

(単位: %)

	食料自給率	
	カロリーベース	生産額ベース
全国	38 (38)	63 (58)
北海道	223	220
青森	120	240
岩手	108	197
秋田	204	138
山形	147	175
新潟	109	100
宮崎	64	286
鹿児島	79	271

資料: 農林水産省「食料需給表」、「都道府県別食料自給率」

※ 全国は確定値。道県は概算値

※ 全国の()は令和4年度(2022年度) (概算値)

■ 国産供給熱量に占める北海道の割合 (令和3年度(2021年度)概算)

(国民1人・1日当たり)

総供給熱量	国産供給熱量		
	A 全国	B 北海道	C 割合 (B/A)
2,266kcal	861kcal	209kcal	24%

資料: 道農政部推計

農林水産省「食料需給表」、「都道府県別食料自給率」等
総務省「人口推計」

国産供給熱量

全 国 A = 総供給熱量 × 全国の食料自給率 (カロリーベース)

北海道 B = ①北海道産供給熱量 × ②北海道総人口 ÷ ③全国総人口

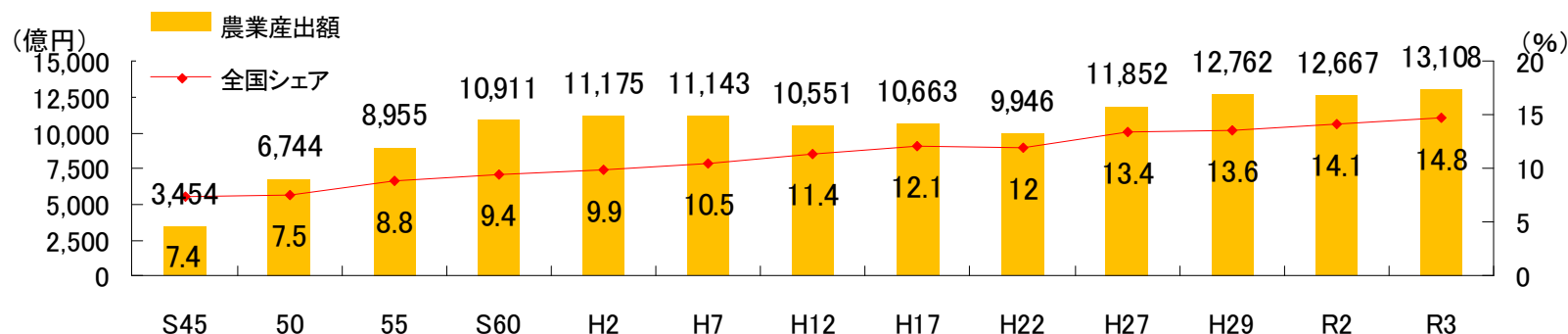
① : 総供給熱量 × 北海道の食料自給率 (カロリーベース)

②、③: 総務省「人口推計」(令和3年(2021年)10月1日現在)

3 農業産出額の推移・構成

- 本道の農業産出額は、昭和59年(1984年)以降1兆円を超え、令和3年(2021年)1兆3,108億円と全国の14.8%を占め、過去最高を更新
- 全道の農業産出額の構成比では、麦類・雑穀、豆類、乳用牛が高い

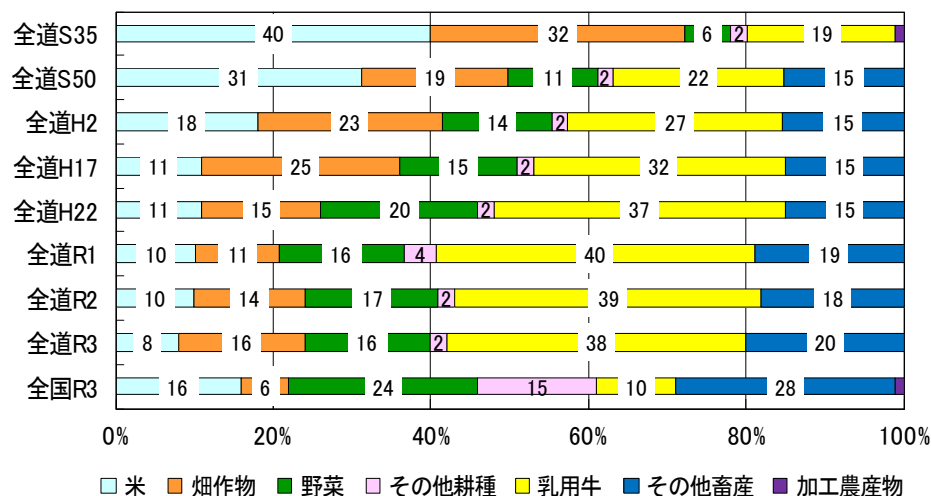
■ 本道の農業産出額と全国シェア



■ 品目毎の農業産出額(R3)

品目	北海道(億円)	全国(億円)	シェア(%)	順位
米	1,041	13,751	7.6	2
麦類・雑穀	539	809	66.6	1
豆類	341	714	47.8	1
いも類	722	2,363	30.6	1
野菜	2,094	21,467	9.8	1
果実	77	9,159	0.8	28
花き	131	3,306	4.0	8
その他	510	2,420	21.1	—
耕種小計	5,456	53,989	10.1	1
乳用牛	4,976	9,286	53.6	1
肉用牛	1,131	7,662	14.8	2
豚	512	6,445	7.9	3
鶏	383	9,801	3.9	7
その他	649	869	—	—
畜産小計	7,651	34,062	22.5	1
合計	13,108	88,600	14.8	1

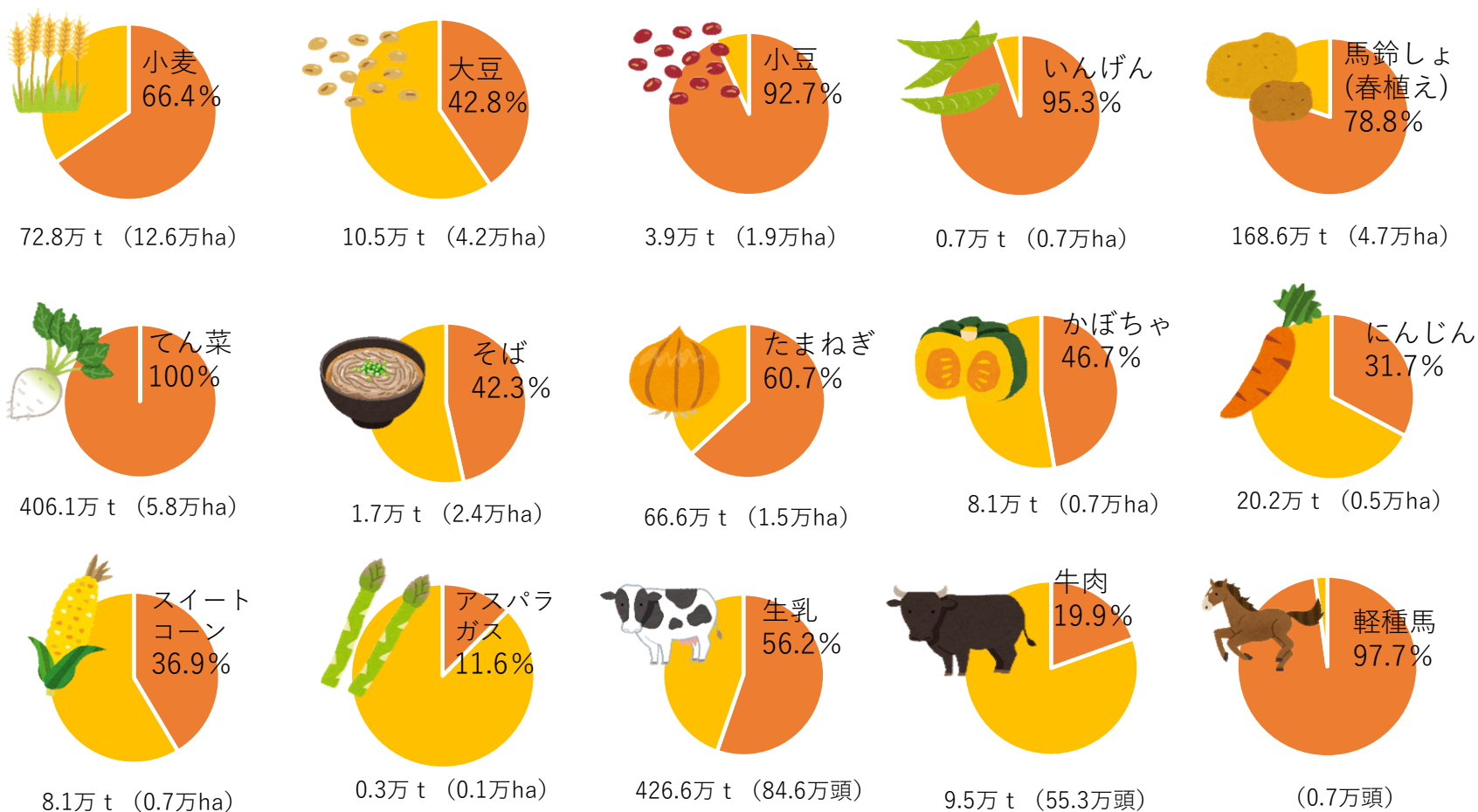
■ 農業産出額の構成比



4 北海道の農畜産物の全国的な位置づけ

○ 本道は、我が国有数の食料供給地域であり、多くの農畜産物で全国1位の生産量となっている

■ 生産量で北海道が全国1位の主な農畜産物（令和3年(2021年)） ※カッコ内は作付面積又は飼養頭数

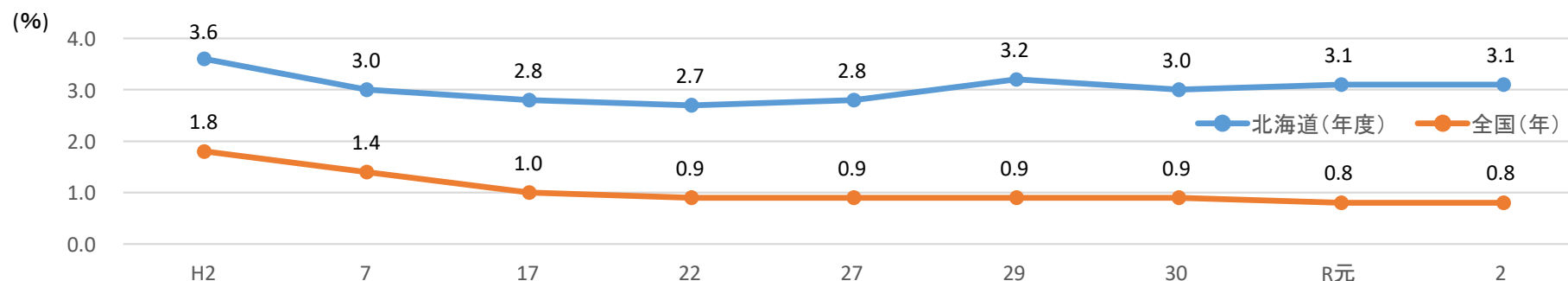


資料: 農林水産省「作物統計」、「牛乳乳製品統計」、「畜産統計」、「食肉流通統計」、(公社)日本軽種馬協会「軽種馬統計」

5 北海道農業と関連産業の関係

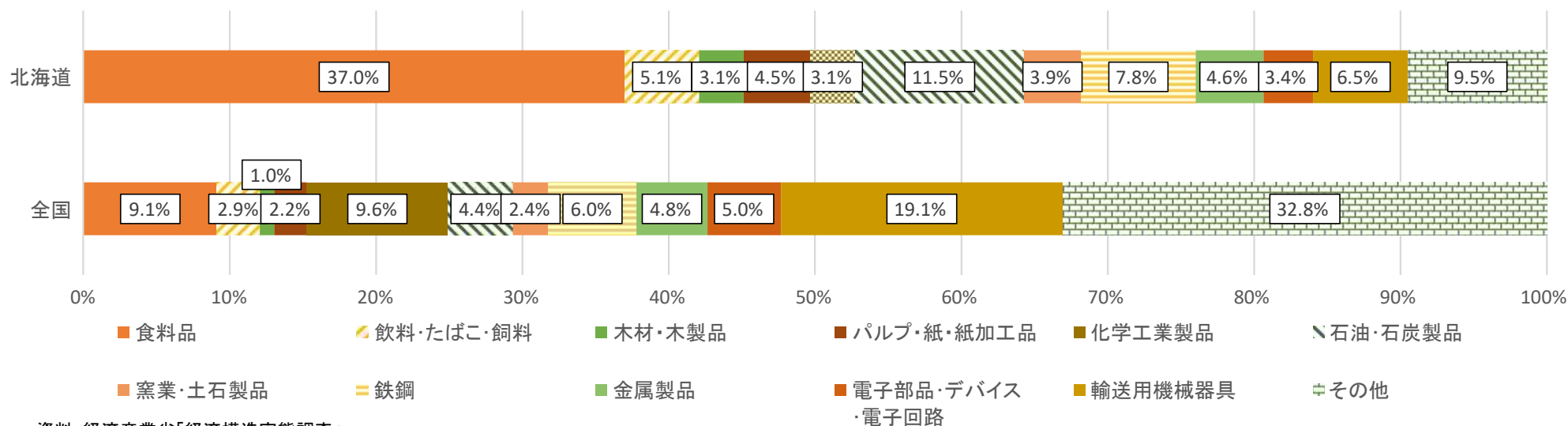
- 道内総生産に占める農業総生産の割合は、令和2年(2020年)で3.1%となっており、国内総生産に占める農業総生産の0.8%に比べ2.3ポイント高い
 - 道内産業別製造品出荷額等における食品工業(※)の構成比は、令和3年(2021年)で42.1%となっており、全国の12.0%に比べ30.1ポイント高い
- ※食品工業:食料品製造業及び飲料・たばこ・飼料製造業

■ 国(道)内総生産に占める農業総生産の割合



資料:農林水産省「農業・食料関連産業の経済計算」、北海道経済部「道民経済計算」 注1)国内総生産は暦年、道内総生産は年度の統計数字

■ 産業別製造品出荷額等の構成比(令和3年(2021年))

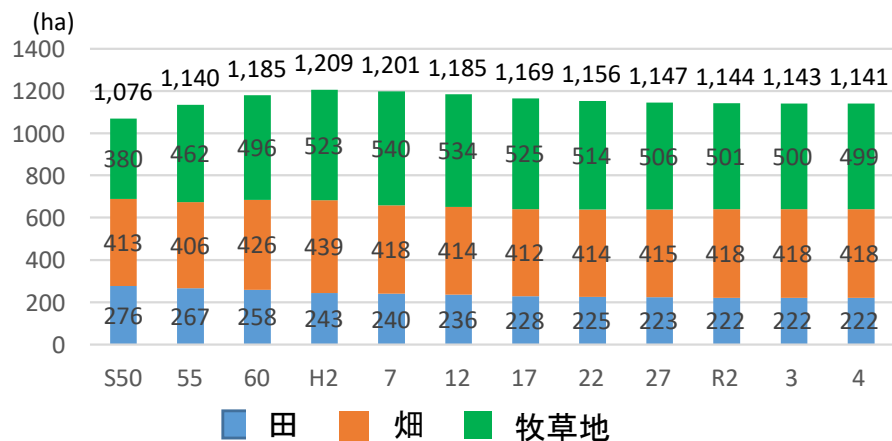


資料:経済産業省「経済構造実態調査」

6 農業構造の動向(耕地面積・農家戸数等)

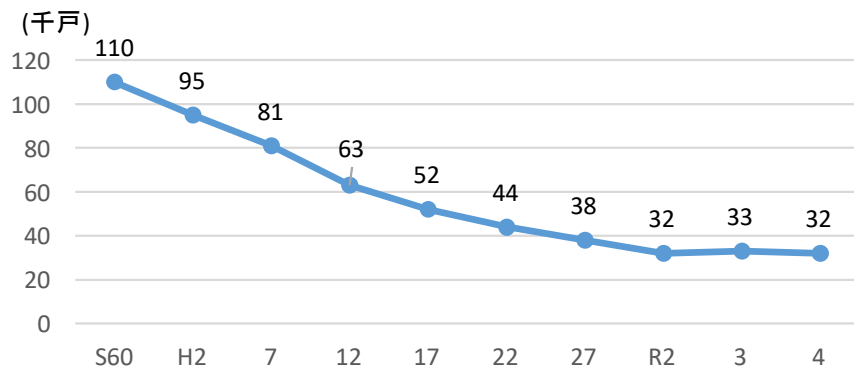
- 本道の耕地面積は平成2年(1990年)をピークに、近年横ばいで推移しており、令和4年(2022年)で114万1,000ha また、荒廃農地面積は減少し、令和3年(2021年)で1,321ha
- 農家戸数は年々減少傾向
- 1農業経営体あたりの経営耕地面積は増加傾向にあり、令和4年(2022年)で33.1ha

■ 耕地面積の推移



資料: 農林水産省「世界農林業センサス」、「農林業センサス」、「耕地及び作付面積統計」

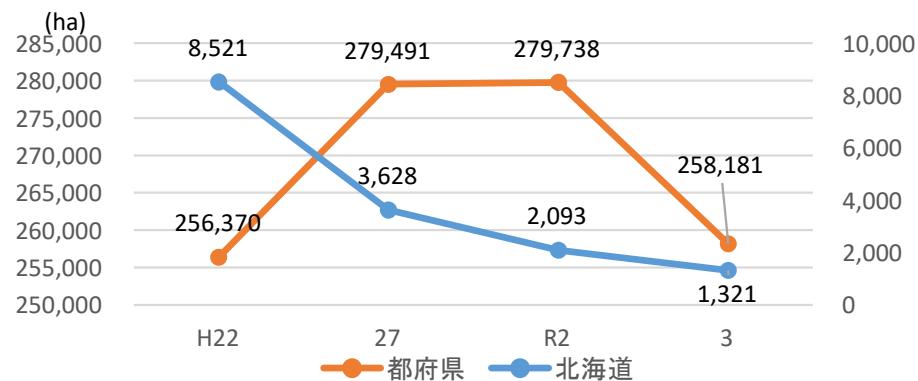
■ 農業経営体数の推移



資料: 農林水産省「世界農林業センサス」、「農林業センサス」、「農業構造動態調査」

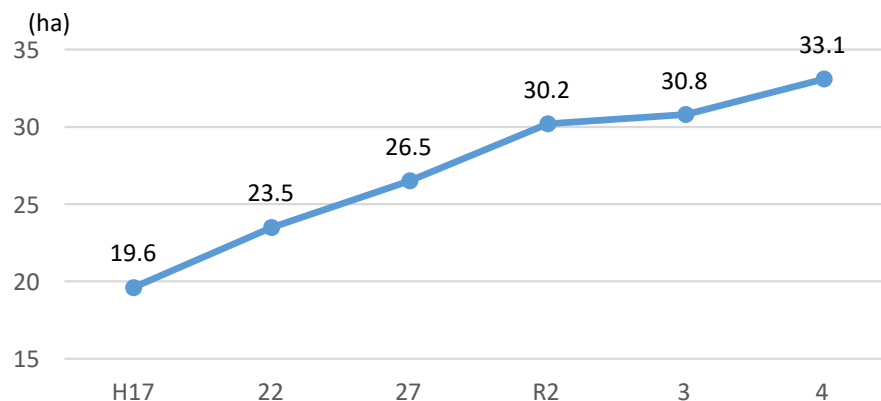
注: R元年度までは農家戸数、R2年度以降は農業経営体数

■ 荒廃農地の推移(実測値)



資料: 農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

■ 1農業経営体あたりの経営耕地面積

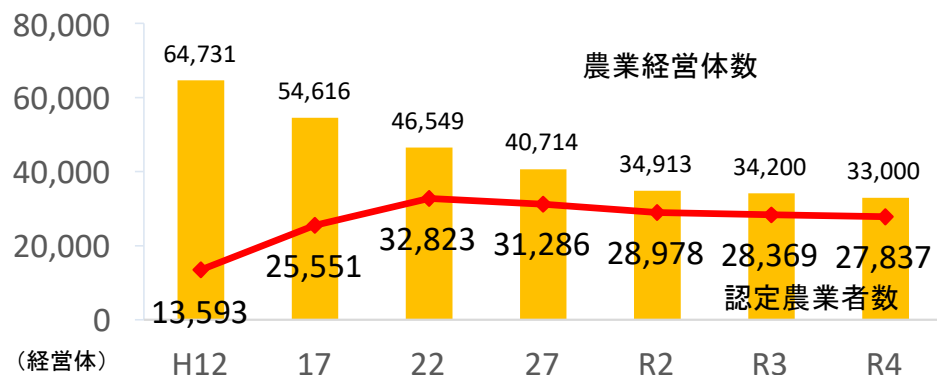


資料: 農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」

7 農業の担い手の動向

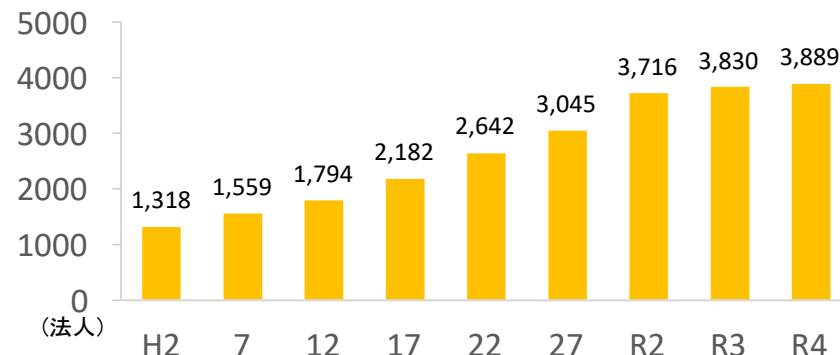
- 農業経営体数は年々減少し、令和4年(2022年)2月現在では3万3,000経営体。経営の改善・発展に取り組む認定農業者は、令和4年(2022年)3月現在で2万7,837経営体と減少傾向
- 農地所有適格法人は、年々増加しており、令和4年(2022年)1月現在では3,889法人
- 令和3年(2021年)の新規就農者総数は477人。農外からの新規参入者は、近年120人程度で推移
- 農外企業等の農業への参入は年々増加しており、令和2年(2020年)9月現在の農地所有適格法人が241法人、農地を賃借する一般法人が101法人

■ 農業経営体数と認定農業者数の推移



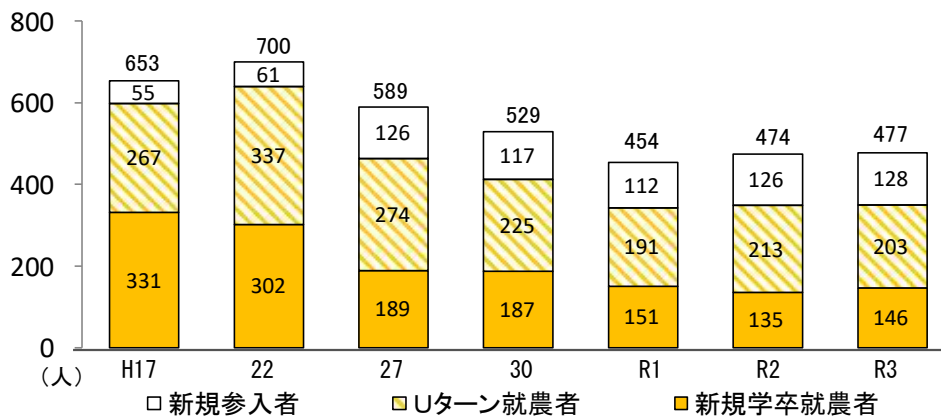
資料:農林水産省「農業構造動態調査」、道農政部調べ

■ 農地所有適格法人数の推移



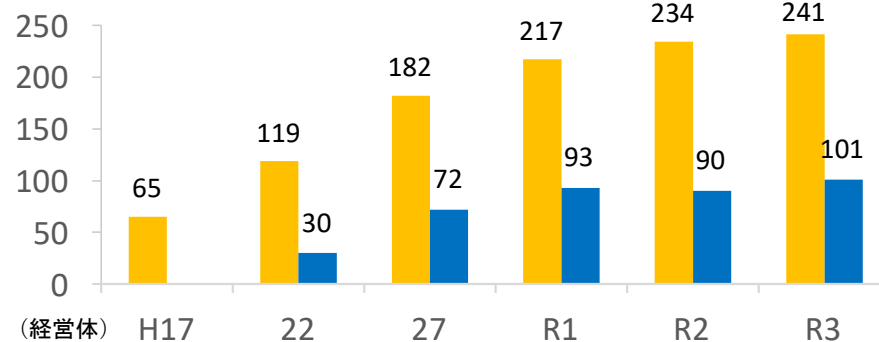
資料:北海道「農地調整年報」、農林水産省「農地法の施行状況に関する調査」

■ 新規就農者数の推移



資料:道農政部調べ

■ 企業等の農業への参入状況の推移



資料:道農政部調べ

8 北海道農業の地域別特色

○ 北海道は地形的に大きな広がりを持ち、気象や立地条件などが地域によって異なることから、それぞれの地域において特色ある農業が展開

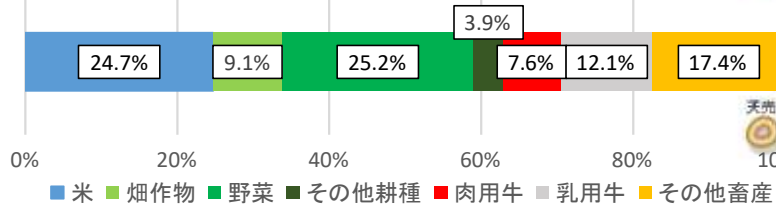
道央地帯

[空知・石狩・胆振・日高・上川・留萌]



この地帯では、稲作を中心に、野菜や軽種馬、肉用牛など地域の特色を生かした農業が行われています。

農業産出額 4,166.2億円 (R3)



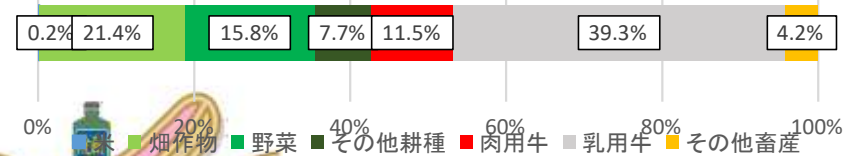
道東(畑作)地帯

[オホーツク・十勝]



この地帯では、麦類、豆類、てん菜、馬鈴しょを中心とした大規模で機械化された畑作や酪農畜産が行われています。

農業産出額 5,387.7億円 (R3)



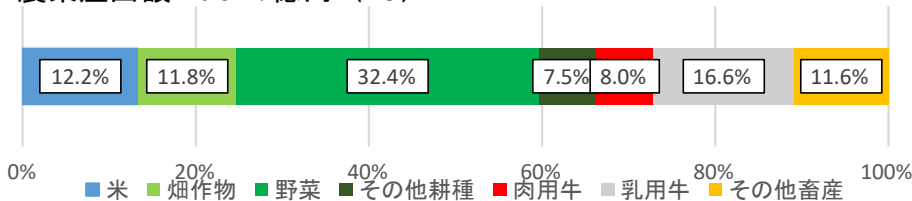
道南地帯

[後志・渡島・檜山]



この地帯では、稲作や施設園芸、畑作、果樹など集約的な農業が行われています。

農業産出額 981.7億円 (R3)



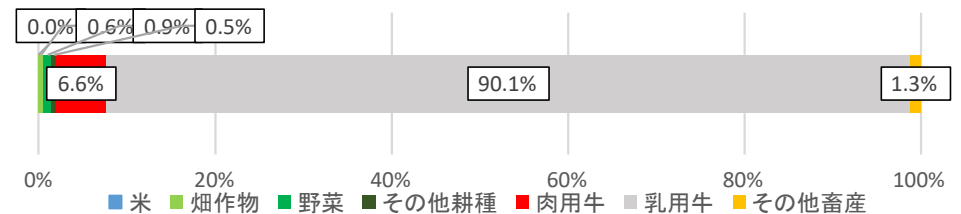
道東(酪農)・道北地帯

[宗谷・釧路・根室]



この地帯では、冷涼な気候を活かした EU諸国に匹敵する大規模な草地型酪農が展開されています。

農業産出額 2,570.3億円 (R3)



資料:農林水産省「市町村別農業産出額」を基に道で推計